

教科(科目)	地理歴史(歴史総合)	単位数	2単位	学年(系) : 1学年必修
教科書	山川出版社『歴史総合 近代から現代へ』			
教材等	浜島書店『新詳歴史総合』、山川出版社『歴史総合要点チェック』			

1. 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題追求や解決の活動を通じ、国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる緒事象について、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p> <p>(2) 現代の歴史の変化に関わる緒事情の意味や意義を多面的・多角的に考察したり、歴史的課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる緒事情について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追求、解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度と自覚を深める。</p>

2. 指導の重点

<p>① 基礎的・基本的な知識の理解と定着を目指すとともに、史料の読解力、統計やグラフの作成と活用力に加え、それらの表現や発表の力を身につけさせる。</p> <p>② ICT機材をはじめとした教材を利用し、歴史的事象について興味・関心を深め、課題に対する考察力や表現力を身につけさせる。</p>

3. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる緒事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4. 評価規準と評価方法

	知識・技能 a	指向・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・小テスト ・小テスト ・グループ討議 <p>から、評価します。 (40%)</p>	<p>以上の点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・プレゼンテーション ・教科書課題 ・グループ討議 ・ワークシート <p>から、評価します。(40%)</p>	<p>以上の点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・論述課題 ・振り返りシート <p>から、評価します。 (20%)</p>

5. 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動	評価の 観点	評価方法
4	歴史の扉	2 A 歴史の 扉	歴史と私たち 日本と洋菓子 歴史の特質と資料 台 湾に置ける砂糖の生産	身近な事柄が歴史と結び つきをもっていること、 資料にもとずいて歴史が 記述されていることを理 解する。	a b c	グループ討議 プレゼンテー ション
	近代化への問い	2 3 B 近代化 と私たち	1 交通と貿易／2 産業 と人口／3 権利意識と 政治参加や国民の義務 ／4 学校教育 5 労働と 家族／6 移民	資料をもとに近代化にと もなう人々の生活や社会 の変容について興味関心 を持ったこと、疑問に思 ったことなどを見いだし て、問いの形に表現する。	b c	教科書課題 論述課題
	結びつく世界		アジア諸地域の繁栄と 日本 ヨーロッパにおける主 権国家体制の形成とヨ ーロッパ人の海外進出	16 世紀におけるアジア各 地の大帝国の繁栄と、ヨ ーロッパで成立した主権 国家体制について理解 し、アジア諸国とヨー ロッパ諸国の関係について考 察する。	a b	小テスト ワークシート
5	近代ヨーロッパ・ア メリカ世界の成立		ヨーロッパ経済の動向 と産業革命 アメリカ独立革命とフ ランス革命 19 世紀前半のヨーロッ パ 19 世紀後半のヨーロッ パ	産業革命、18 世紀以降の 欧米の市民革命や国民統 合の動向をもとに国民国 家の形成について理解す る。またヨーロッパ諸国 の進出により植民地化が 進んだアジア諸国の対応 を理解する。	a b	小テスト ワークシート
	中間考査				a b	定期考査
6	明治維新と日本の立 憲体制		西アジアの変容と南ア ジア・東南アジアの植 民地化 中国の開港と日本の開 国	アジア諸国とその他の国 や地域の動向を比較し たり関連づけアジア諸国と 欧米諸国のとの関係の変 容などを多面的・多角的 に考察する。	a b	小テスト ワークシート
	明治維新と日本の立 憲体制		明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体 制	欧米諸国との外交関係に 留意し、明治維新や大日 本帝国の制定などをもと に立憲体制と国民国家の 形成について理解する。 また、政治変革の特徴や 憲法の特徴を考察する。	a b	小テスト ワークシート
	帝国主義の展開とア ジア		条約改正と日清戦争日 本の産業革命と教育の 普及	列強の進出と植民地の形 成、日清・日露戦争など をもとに、列強の帝国主	a	小テスト

	近代化と現代的な諸課題		<p>帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響</p> <p>自由・制限／開発・保全</p>	<p>義政策とアジア諸国の変容を理解する。また、帝国主義政策の特徴や列強間の関係変容などについて考察し、表現する。</p> <p>2つの観点から1つを選び、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探求した結果を表現する。</p>	<p>b</p> <p>b c</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループ討議 論述課題 振り返りシート</p>
7	期末考査				a b	定期考査
	国際秩序の変化や大衆文化への問い	20 C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	<p>1 国際関係の緊密化／ 2 アメリカ合衆国とソ ヴィエト連邦／3 植民 地の独立／4 大衆の政 治的・経済的・社会的 地位の変化／5 生活様 式の変化</p>	<p>資料をもとに国際秩序の 変化や大衆化にともなう 人々の生活や社会の変容 について興味関心を持った こと、疑問に思ったこと などを見いだして、問い の形に表現する。</p>	<p>b</p> <p>c</p>	<p>教科書課題</p> <p>論述課題</p>
8	第一次世界大戦と大衆社会		<p>第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障</p>	<p>第一次世界大戦の展開、 各国やナショナリズムの 動向、国際連盟の成立な どをもとに、第一次世界 大戦後の国際協調体制を 理解する。また、第一次 世界大戦の性格と惨禍、 日本とアジアおよび太平 洋地域の関係や国際協調 体制の特徴などを考察す る。</p>	<p>a</p> <p>b</p>	<p>小テスト</p> <p>ワークシート</p>
9			<p>アジア・アフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容</p> <p>社会・労働運動の進展 と大衆の政治参加</p>	<p>大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解し、社会の変容と社会運動との関連を多面的に考察する。</p>		
9	経済危機と第二次世界大戦		<p>世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争</p>	<p>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などをもとに国際協力体制の動揺について理解し、背景や要因について考察する。</p> <p>日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争の展開について理解し、社会におよぼした影響について考察する。</p>	<p>a</p> <p>b</p>	<p>小テスト</p> <p>ワークシート</p>
	中間考査				a b	定期考査
	戦後の国際秩序と日		新たな国際秩序と冷	第二次世界大戦後の国際		

10	本の改革		戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立	秩序と日本の国際社会への復帰について理解する。また、日本とその他の地域を比較したり、相互に関連づけ日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現する。	a b	小テスト ワークシート
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な課題		対立・強調／平等・格差／統合・分化	3つの観点から1つを選び、資料を活用し、事象の原因・結果や影響などを考察し、探求した結果を発表する。	b c	グループ討議 論述課題 振り返りシート
11	グローバル化への問い	1 9 D グローバル化と私たち	1 冷戦と国際関係／2 人と資本の移動／3 高度情報通信／4 食料と人口／5 資源・エネルギーと地球環境／6 感染症／7 多様な人々の共存	資料をもとにグローバル化にともなう人々の生活や社会の変容について興味関心を持ったこと、疑問に思ったことなどを見いだして、問いの形に表現する。	b c	教科書課題 論述課題
	冷戦と世界経済		集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパ経済復興 第三世界の連携と試練 55年体制	冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、第三世界の形成などをもとに国際政治の変容を理解し、地域紛争と冷戦の関係や第三世界の経済政策や欧米やソ連の政策転換の要因を考察し表現する。	a b	小テスト ワークシート
12	期末考査				a b	定期考査
1			日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放	世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について理解し、経済成長による生活や社会の変容などを多面的に考察する。 石油危機、アジア諸地域の経済発展や市場開放などをもとに市場経済の変容と課題を理解し、市場経済のグローバル化の特徴や日本の役割などを考察する。	a b	小テスト ワークシート
	グローバル化する世界		冷戦の終結と国際情勢 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 発展途上国の民主化と	冷戦の終結、民主化の進展、地域紛争への対応をもとに、冷戦後の国際政治の変容について理解	a b	小テスト ワークシート

		独裁政権の動揺 地域紛争の激化 国際社会のなかの日本	し、冷戦終結後の国際政治の特徴日本の役割などを多面的に考察する。		
2	現代の課題	現代社会の諸課題 現代日本の諸課題	現代社会の諸問題についての現状や要因を理解し、どのように対応するか、諸外国との関係でどのように解決していけるかを多面的・多角的に考察する。	a b	小テスト ワークシート
3	現代的な諸課題の形成と展望		歴史的な見方考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解し、現代的な諸課題に対して、歴史的な問を立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。	b c	教科書課題 論述課題 プレゼンテーション 振り返りシート
	学年末考査			a b	定期考査

計 64 時間(55 分授業)

6. 課題・提出物等

各章ごとに小テストを行います。
ワークシートは主に授業中に取り組んでもらう課題で、ノート点検と一緒に提出してもらいます。
各学期に1・2回の論述課題・振り返りシートを提出してもらいます。

7. 担当者からの一言

「歴史総合」は、おもに18世紀以降の日本の歴史を、世界の動きと密接に結びつけながら、学び考えてゆくことをめざしています。歴史を学ぶことは、たんに多くの事実を記憶することではありません。様々な歴史上のできごとを関連づけて、現在の問題はなぜ生まれてきたのか、よりよい社会実現のためにどのように解決すればよいのかを共に考えてゆきましょう。